

連携だより

令和4年

4月号

令和4年4月1日発行

独立行政法人 国立病院機構



呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
TEL 0823-22-3816
FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>

E-mail 506-kure-renkei@mail.hosp.go.jp

4月の花 タンポポ

理念

思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します



今月号のトピックス

- 地域医療連携室長交代のお知らせ 地域医療連携室長 河野 博孝…………… 1
- 地域医療連携副室長・看護師長交代のお知らせ
地域医療連携副室長 竹中 恵子…………… 2
- 院内研究発表会 特別講演 が開催されました …………… 2

交代のお知らせ

着任のご挨拶



地域医療連携室長
河野 博孝

4月1日より地域連携室長として地域連携に携わらせて頂きます。
私は当院に赴任し約17年間、消化器内科肝臓専門として呉地区の肝臓医療に携わってまいりました。

前室長の清水洋祐先生は、当院のような急性期病院と地域の医療施設との連携が重要と考えられ、約7年間にわたり多方面の問題を精力的に改善されてこられました。

微力ながら、今後もさらに各連携施設の先生方からご意見をお伺いしながらお役に立てるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

退任のご挨拶

前地域医療連携室長 清水 洋祐

2016年より地域医療連携室長を担当し、微力ながら地域医療機関の皆さまとの連携に関わらせていただきました。その中で、2016年10月の第1回「地域医療連携のつどい」に始まり、2019年までCOVID-19の影響により開催不可能となるまで4回開催することができ、顔の見える連携の一助になったかと考えております。まだまだ解決すべき問題は残っており無力さを痛感するところですが、これまでご支援いただき誠に有り難うございました。

COVID-19の影響が今後も長期にわたりそうですが、地域医療連携室は今まで以上に、皆さまとの信頼関係より強固なものにしたいと考えております。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

交代のご挨拶



地域医療連携副室長
看護師長
竹中 恵子

4月1日に着任いたしました。

不慣れなことばかりで
ご迷惑をおかけしますが、
全力を尽くしてまいります。
地域の先生方および医療機関の
皆様、今後ともご指導ご鞭撻の
ほど、よろしくお願いいたします。

前地域医療連携副室長 看護師長 森下 早苗

このたび、4月1日付で院内配置替えとなりました。

地域医療連携室での6年間、地域の先生方および医療機関の皆様には、ご迷惑をおかけしたことも多々ありましたが、温かく支援していただきましたこと深く感謝申し上げます。

当院、地域医療連携室は「地域の皆様とのより密な連携」を大切に努力して参ります。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

2022年3月5日(土) 院内研究発表会 特別講演 が開催されました



臨床検査科
臨床研究部
石川 洸

第40回院内研究発表会が令和4年3月5日に当院で開催され、私は特別講演をさせていただきます。私は2019年4月から当院の臨床検査科に着任しました。私が専門としている病理学は実験病理（研究）と診断病理（診療）を両輪とする学問であり、私も診療に従事しながら分子病理学的研究にも取り組んできました。着任以降、4報の筆頭原著論文、共著や症例報告を含めると15報の論文を当院から世界に発信して参りました。本特別講演では「消化器癌におけるAnnexin A10 (ANXA10) の臨床病理学的重要性」というテーマで、当院で得られたANXA10に関する研究成果を中心に報告致しました。

ANXA10とは正常の胃などに発現するタンパク質であり、胃型形質と関連があるとされています。私はそのタンパク質に着目し、胃癌・小腸癌・膵癌について臓器横断的に研究を行いました。これらの癌において、ANXA10の有無が患者さんの今後を予測する因子になると共に、特に胃癌においては使用頻度の高い抗がん剤の抵抗性とも関係することを報告しました。さらに、ANXA10の下流にはさまざまな分子が関与し、腫瘍の進展に関わることが解明されました。この研究成果が発展して、患者さんに届くことがあれば大変光栄なことだと思います。

本研究は高いレベルの診療が当院全科を通じて実践され、充実した研究設備とそれを支える専門スタッフに後押しされてようやく成り立つものです。この体制は一朝一夕に成り立つものではなく、歴史と伝統のあ

る大変恵まれた環境で研究と診療が遂行できていることを嬉しく思っています。今後とも、研究と診療に精進しますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、私に特別講演の機会を与您にいただいた関係者の皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

心理的安全性を担保し進化するチーム医療間のコラボ（TCSA）



呉医療センター・
中国がんセンター
副院長
呼吸器外科科長
山下 芳典

この度退職いたします副院長の山下です。当院へは13年間務めさせていただき、地域の医療機関の皆様にはご高配をいただきありがとうございました。ここ呉医療センター・中国がんセンターでは、肺の手術の他に、医療安全、チーム医療、国際交流や医工連携といった病院の文化ともいべき仕事を担ってきました。先日、令和4年3月5日に開催された第40回院内研究発表会の特別講演として、チーム医療についてお話しする機会をいただきましたので、ここで報告いたします。

本邦では日本最大の栄養に関する学会である日本常務役経腸栄養学会が、2001年に国際的な潮流に乗って“栄養サポートチーム（NST）を日本の病院に作っていこう”というキャンペーンを始めました。これこそが本邦におけるチーム医療の夜明けといっても過言ではありません。チーム医療の最大の利点は、医療の中の多職種が異なった観点から専門的な意見を出し合うことです。チームで患者と向き合い、精神的なサポートをする点において大きな効果

を発揮します。当院にもNSTが誕生し。その後、進化系のチーム医療に発展しました。それはすでに当院で10年以上かけて培ってきたチーム医療間のコラボレーションのシステム、すなわちTCSAです¹⁾。TCSA（Total patients Care Service Associationの略）とは、院内で活動している感染対策（ICT）、褥瘡管理（PMT）、クリニカルパス（CPT）と栄養サポート（NST）の4つのチーム医療から成り、これらのチーム医療同士がさらに協力して大きなチームの枠で活動しています。例えば、ご高齢の骨折の患者さんが入院され、十分に動けないため褥瘡が発生し、さらに誤嚥性肺炎を発症し、経口摂取が低下して栄養状態が悪くなり、クリニカルパスから逸脱するという比較的経験される症例でTCSAは威力を発します。各病棟単位で4つのチームのリンクナースとNST管理栄養士が中心となり、課題のある患者に対して多角的観点から入院患者の課題を毎週抽出し、意見を出しあって解決していきます。TCSAにより患者に対して有機的且つ迅速に対応が可能となります。

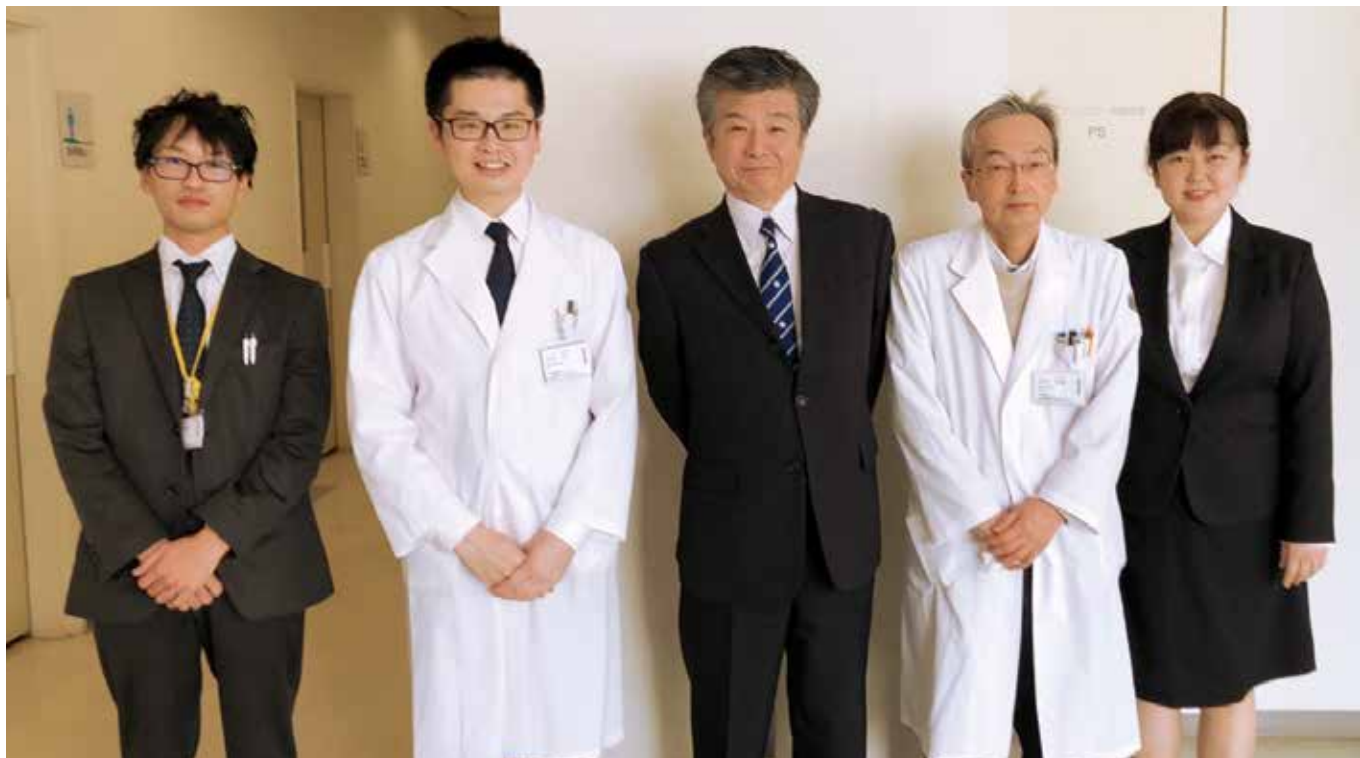


チーム医療を最大限に機能させるためには、どのようなチームがよいのでしょうか。ITの会社であるグーグルにおいて、生産性の高いチームの特徴に関する調査報告があります。チームの活動の質を高めるには、チームに属するメンバーの「心理的安全性」の担保が重要だったのです²⁾。心理的安全性とは、メンバーそれぞれの性格、得手不得手をチーム内で共有し、自分らしく自由に発言できる環境を整えることです。最近になり医療現場にも積極的に導入され、当院の中で発展してきたTCSAにおいても心理的安全性を担保することに努め、メンバーが安心して自分らしく働くことができる環境の中でチームとしての効率性を上げています。

チーム医療は医療の質と医療安全の向上に欠かせないものとなっています。さらにチーム医療を支えているのは「心理的安全性」です。近年、天災、人災、そしてパンデミックにより世界は混乱していますが、より洗練されたチーム医療を目指し、職員が一丸となって乗り越えていくことを願ってやみません。皆様、これからも楽しく働きお幸せに。

1) 山下芳典、他。チーム医療のコラボレーションを遂行するためのTCSAの試み。医療 172-6、2018

2) Piotr Feliks Grzywacs。世界最高のチームグーグル流「最少の人数」で「最大の成果」を生み出す方法、朝日新聞出版、2018



第40回 院内研究発表会にて

※撮影のためマスクをはずしています

2022年度 患者サロンのお知らせ

がん相談支援センター 林 俊美
折本 陽一
中西 貴子

2021年度の患者サロンは、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて開催の是非を何度も検討致しました。緊急事態宣言発令と共に開催を断念せざるを得ない時期もありましたが、がんサロンは4回、乳がんサロンは2回、オストメイトサロンは2回の開催をすることができました。これも、皆さまが感染予防対策に御協力下さったおかげと心より感謝しております。

感染状況はいまだ予断を許しません、皆さまに頂いたアンケートの結果、開催の要望が多かったことから、2022年度も感染予防対策を十分に行った上で、患者サロンを開催することになりました。

現在、当センターが面会制限を継続させていただいていることから、2022年度も入院患者さんの参加はご遠慮いただくことになりました。例年にならい、できる限り事前申し込みをお願い致します。開催するにあたり、密を避け座席間隔を開けるなどの準備をしておりますが、37.5度以上ある方や体調がすぐれない方の参加をお断りすることがありますことを、ご了承下さい。尚、参加に際しては、マスク着用の上ご参加いただきますようお願い致します。

— 事前申し込み方法 —

がん相談直通電話

0823-24-6358

平日：9時～16時

よろず相談窓口（4番カウンター）

平日：8時30分～17時15分



2022年度 患者サロン予定

開催場所：呉医療センター・中国がんセンター
外来棟4階 地域医療研修センター第1・2

開催時間：14：00 ～15：00

どのサロンも時間は同じです

【がんサロン】 毎月第2金曜日 14:00～15:00



開催月	内容	講師	日時
5月13日(金)	感染予防について	感染管理認定看護師	通常どおり
6月16日(木)	胃がんのトピック	外科医長	第3木曜日
7月8日(金)	がん患者における口腔支持療法	歯科・口腔外科医	通常どおり
8月12日(金)	おしゃべり会(ACPについて) ～「私のこころづもり」を話そう～	がん専門相談員	通常どおり
9月15日(木)	大腸がんのトピック	外科医長	第3木曜日
10月14日(金)	がんと栄養について	管理栄養士	通常どおり
11月8日(火)	前立腺がんのトピック	泌尿器科科長	第2火曜日
12月9日(金)	こころのケア ～リラクゼーション など～	心理療法士	通常どおり

出来る限り事前申し込みをお願いします。現段階では、入院患者さんの参加はご遠慮いただいておりますので、ご理解の程よろしくお願い致します。

尚、参加者の方には、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、氏名と連絡先をお尋ねします。ご協力よろしくお願いします。





【乳がんサロン】

第 4 木曜日 14:00～15:00

開催月	内容	講師	日時
5 月 17 日(火)	乳がん治療のトピック	乳腺外科医師	第 3 火曜日
7 月 28 日(木)	アピランスについて(ウィッグ・毛髪)	院内美容師	通常どおり
9 月 22 日(木)	乳がんのリンパ浮腫について	リンパドレナージセラピスト(看護師)	通常どおり
11 月 24 日(木)	乳癌薬物療法の副作用について	がん専門薬剤師	通常どおり

【オストメイトサロン】

第 4 木曜日 14:00～15:00

開催日	内容	講師	日時
6 月 23 日(木)	災害時の備え	皮膚排泄ケア 認定看護師	通常どおり
8 月 25 日(木)	ストーマ保有者の生活 ～入浴・外出・旅行など～	皮膚排泄ケア 認定看護師	通常どおり
10 月 27 日(木)	ストーマ保有者の栄養について	管理栄養士	通常どおり
12 月 22 日(木)	皮膚トラブルの予防と対応 ～こんな時どうする？～	皮膚排泄ケア 認定看護師	通常どおり

<事前申し込み方法>

呉医療センター・中国がんセンター がん相談支援センター

① がん相談支援センター直通電話 平日 9 時～16 時

② よろず相談窓口(4 番カウンター) 平日 8 時 30 分～17 時 15 分

☎ 0823-24-6358

内容や日付など変更の可能性がありますので、
予定が近づきましたら再度、ホームページやポスターなど
でご確認ください。

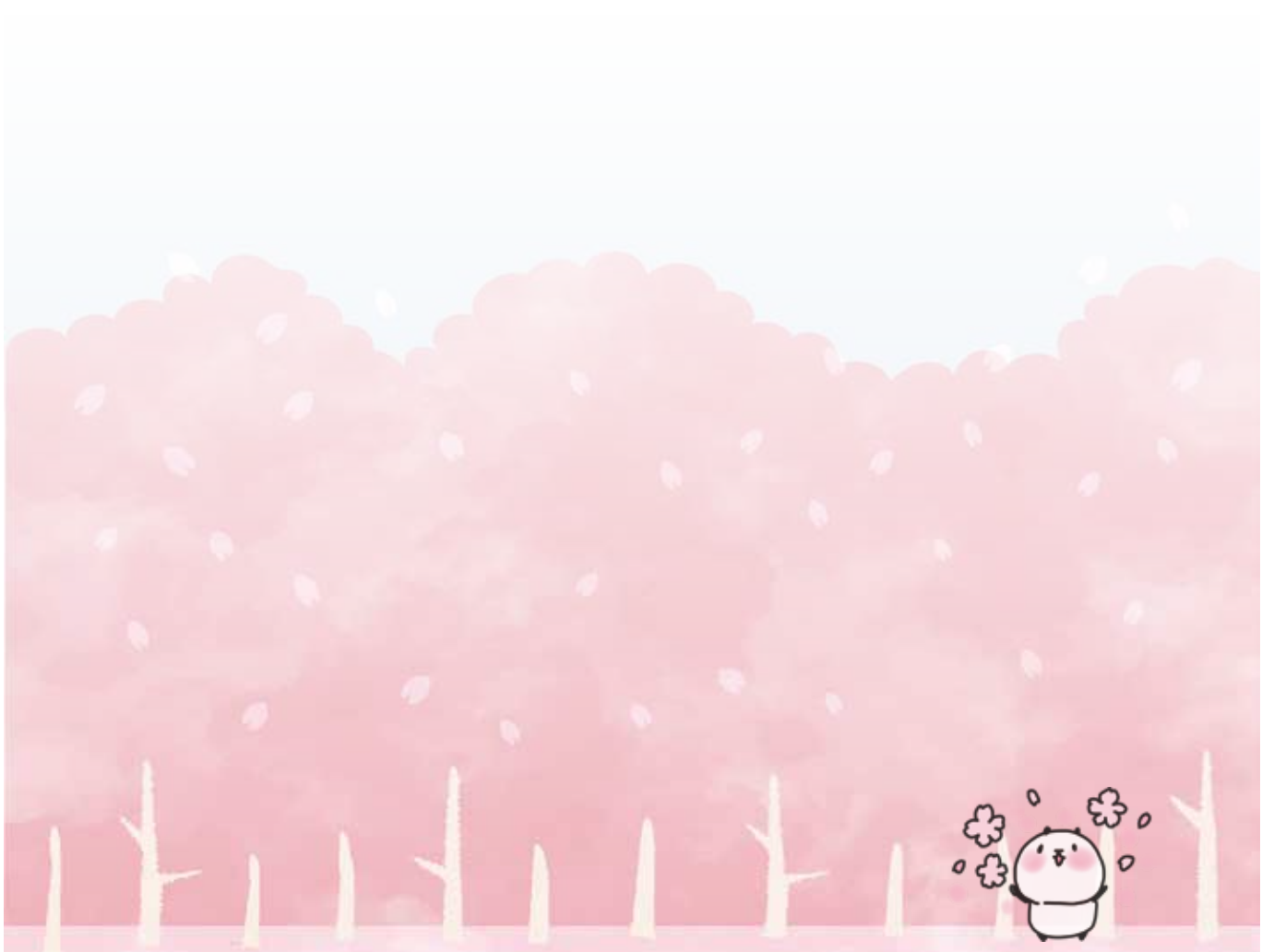
2022 年 3 月 4 日作成



救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平日 昼間	8:30~17:15	0823-22-3111
土・日および夜間	17:15~8:30	0823-23-1020



4月の時間外 研修会／勉強会



【連絡先】

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係（教育企画部）
 広島県呉市真山町3番1号 / TEL:0823-22-3111 / FAX: -3112 / https://kure.hosp.go.jp/

研修会名	日 時	場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
医療機器安全使用に関する研修会 「保育器、incuiの使い方」	4月19日 (火) 17:30~18:30	1Fカンファレンス室	ME管理室 久恒 一馬	ME管理室	院内 向け	全職種

自己研鑽で専門性を高めましょう！



〒737-0023 広島県呉市青山町3-1

地域医療連携室

高野 弘嗣 河野 博孝

竹中 恵子 折本 陽一

片山 千雪

TEL: (0823) 22-3816

独立行政法人 国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター